

銅 概 況

大阪市中央区玉造2丁目28番10号
加藤金属興業株式会社

◎ 2020年6月の国内電気銅建値は下記の通りです。

6月	1日	～	620円/Kg
6月	3日	～	640円/Kg
6月	8日	～	660円/Kg
6月	11日	～	670円/kg
6月	16日	～	660円/kg
6月	23日	～	670円/kg
6月	26日	～	680円/kg

2020年6月度は平均で659.00円/kgとなり、前月比54.30円/kgの値上がりとなりました。

海外銅価の動き

6月のLME銅相場	6/1～6/28	(安値ドル 5,376.50～5,957.00 高値ドル)
6月のNYC銅相場	6/1～6/28	(安値セント 247.45～267.95 高値セント)

6月度のLME現物は、6/1 \$5,376.50でスタート。2020年3/23付で\$4,618まで落ち込んだ銅価格は、その後ある意味順調に回復している動きとなっている。4/7に\$5,000を超えて以降21日に\$4,995となったが、\$5,000を切ったのはこの一度だけで、その後については\$5,000台をキープしながら、ジリジリと値を上げて行く形となった。更に6/29には\$5,957を付け\$6,000まであと少しのところまで銅相場を押し上げた格好となった。6月末、コロナウイルスによる死者は全世界で50万人を超え、感染者は1,000万人を超えたと発表された。この現状で大きく影響されるべく世界経済に銅価の上昇はいかにも不自然とも思われるが、米中関係の動向、株価の動きや銅鉱山の思惑など複雑な要素も考えられ、今後も注視して行きたい。

銅需給バランス…Brook Hunt 情報 2019年12月 資料より (単位/千トン)

	2019年 実績	2020年 実績	前年比	2021年 予想	前年比	2022年 予想	前年比
全世界地金生産	23,531	23,986	+1.9%	24,639	+2.7%	25,095	+1.8%
全世界地金消費	23,621	24,040	+1.8%	24,593	+2.3%	25,196	+2.5%
全世界需給バランス	-90	-54		+46		-101	

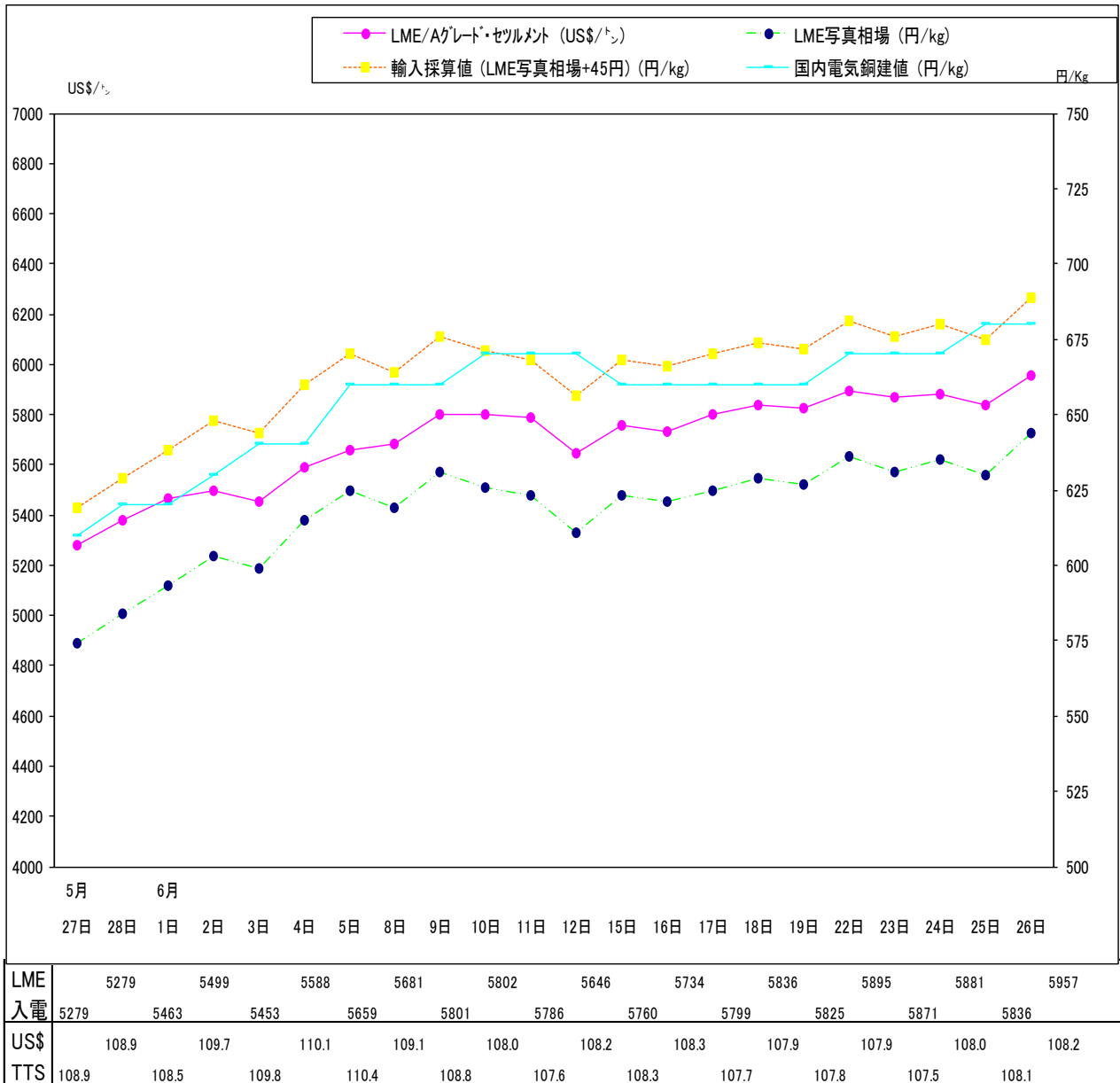
先行き短期見通

国内銅価

6月の国内建値は6/1 620円でスタート。3日 640円、8日 660円、11日 670円と順調に上げる形となった。16日一旦下げるも、23日 670円、26日 680円と上げ、建値平均は659円とした。

6/29付 LME \$5,957.00、同 為替 (TTS) 1USD=108.24円で日本円換算計算値 645円/kgに。2020年7月度の国内電気銅建値のスタートは、以降変化のない限り、680円/kgの予想です。

◎ LME相場推移及び国内電気銅建値推移



◎ 2020年6月の国内亜鉛建値は下記の通りです。

- 6月 1日 ~ 268 円/kg
- 6月 4日 ~ 274 円/kg
- 6月 9日 ~ 277 円/kg
- 6月 12日 ~ 268 円/kg
- 6月 19日 ~ 274 円/kg

平均272.20円/kg

2020年6月は上記の通りで前月比 4.70 円/kg の 値上げとなりました。

これはLME亜鉛相場が上昇したため。

◎ その他の建値

電気鉛	6月	248.70 円/kg	(前月比+ 12.70 円/kg)
電気錫(相対)	6月	3,170.00 円/kg	(前月比+ 120.00 円/kg)
ニッケル(溶解用)	6月市中価格	1,450.00 円/kg ~ 1,500.00 円/kg	
銀	5月平均	58,010.00 円/kg	(前月比+ 4,320.00 円/kg)
	6月30日	63,120.00 円/kg	
金	5月平均	5,973.47 円/g	(前月比+ 124.71 円/g)
	6月30日	6,158.00 円/g	

◎ 伸銅品関係

2020年5月の伸銅品・品種別生産速報(全国ベース)

		4月度実績	5月度速報	前月比	前年5月度実績	前年同月比
銅	板	974	889	-8.7%	1,663	-46.5%
	条	21,550	16,419	-23.8%	19,867	-17.4%
	管	8,078	7,321	-9.4%	8,999	-18.6%
	棒	1,820	1,490	-18.1%	2,086	-28.6%
	線	284	221	-22.2%	231	-4.3%
黄銅	板	544	474	-12.9%	550	-13.8%
	条	7,345	5,546	-24.5%	8,355	-33.6%
	管	455	342	-24.8%	456	-25.0%
	棒	13,605	11,566	-15.0%	14,565	-20.6%
	線	1,817	1,242	-31.6%	2,062	-39.8%
青銅	板	2,292	1,735	-24.3%	1,965	-11.7%
	条					
	棒	252	204	-19.0%	301	-32.2%
	線					
洋白・その他	板	407	384	-5.7%	379	1.3%
	条					
	棒	347	190	-45.2%	406	-53.2%
	線					
合計	59,770	48,023	-19.7%	61,885	-22.4%	

5月の伸銅品生産速報は、48,023トンで前月比マイナス11,747トン、前年同月比マイナス22.4%となり、前年同月比が18ヶ月連続でマイナスとなりました。

電 線 関 係

電線工業会がまとめた銅電線主要7部門別出荷数量の20年3月分実績及び4月分推定は、3月分実績は通信と電力、自動車が前年を上回ったものの、ウェアの高い建設電販が減少し、更に電気機械の不調もあり、総計5万8千795t(前年同月比0.1%減)。

一方、4月分の銅電線出荷推定では、新型コロナウイルスの影響によって7部門中通信を除く6部門が前年を割り込み、総計は5万1千700t(同13.0%減)となり、7ヶ月連続で減少する見通し。

結果、19年度出荷実績は建販34万2千247t(前年比2.0%up)となり、通信、電力、自動車も増加し、合わせて4部門が前年を上回ったが、その他3部門が落込み総計69万4千205tで同0.5%減少し3年ぶりマイナス。金額では1兆2千212億7千100万円で同0.1%減少。

3月分の部門別出荷は、前年同月比でプラスグループは通信、電力、自動車、その他内需の4部門。通信はデータセンター向けのLANケーブルが動いたほか、一部5G絡みも健闘し5.2%増で3ヶ月連続。電力は洋上風力発電が動き、CVケーブル、原発ケーブルの需要も重なり同33.3%の大幅増で4ヶ月連続の前年増。自動車同2.9%増、その他内需も半導体などの需要増で同6.6%増加。一方、マイナスグループは電気機械と建設電販、輸出の3部門。電気機械は貿易摩擦に加えコロナウイルスも影響し同0.7%減少した。建設電販は五輪の終息と地方需要が弱く同4.4%減で2ヶ月連続の減少。輸出もスポット需要が弱く同29.3%減少となった。

2020年3月分(実績)・2020年4月分(推定)主要部門別出荷

部門	数 量						金 額		
	3月実績 (t)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)	4月推定 (t)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)	3月実績 (百万円)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)
通信	857	6.3	5.2	1,100	(28.4)	15.4	1,313	▼ 0.3	1.5
電力	(2,418)	(99.5)	(▼15.0)	(1,200)	(▼50.4)	(17.1)	(1,717)	(95.1)	(▼20.8)
	5,616	36.3	33.3	3,900	▼ 30.6	▼ 3.0	7,951	56.9	59.7
電気機械	(309)	(10.8)	(▼27.5)				(311)	(10.7)	(▼19.8)
	11,511	3.6	▼ 0.7	10,100	▼ 12.3	▼ 13.1	16,058	7.8	1.3
自動車	(167)	(▼ 5.6)	(▼ 1.8)				(614)	(▼ 3.2)	(▼ 15.7)
	7,927	3.6	2.9	5,200	▼ 34.4	▼ 31.7	39,143	2.9	▼ 0.7
建設・電販	(48)	(336.4)	(▼68.0)				(44)	(300.0)	(▼78.4)
	27,008	3.9	▼ 4.4	26,700	▼ 1.1	▼ 10.3	29,876	2.4	▼ 9.0
その他内需	(37)	(▼7.5)	(▼42.2)	(400)	(▼28.3)	(▼37.4)	(42)	(▼16.0)	(▼42.5)
	4,310	11.3	6.6	3,700	▼ 14.2	▼ 12.6	7,039	5.2	▼ 4.9
内需計	(2,979)	(73.3)	(▼18.5)	(1,600)	(▼46.3)	(▼3.8)	(2,728)	(47.0)	(▼23.4)
	57,229	6.8	1.1	50,700	▼ 11.4	▼ 12.7	101,381	6.5	▼ 0.4
輸出	(2,243)	(1080.5)	(550.1)	(100)	(▼95.5)	(9900.0)	(1189)	(952.2)	(714.4)
	1,566	8.1	▼ 29.3	1,000	▼ 36.1	▼ 23.1	5,873	17.4	▼ 23.1
合計	(5,222)	(173.5)	(30.6)	(1,700)	(▼67.4)	(2.1)	(3,917)	98.9	(5.7)
	58,795	6.9	▼ 0.1	51,700	▼ 12.1	▼ 13.0	107,254	7.0	▼ 2.0
心線販売	(443)	(▼11.6)	(▼56.7)	(500)	(12.9)	(▼14.2)	(105)	(▼16.0)	(▼60.8)
	25,669	1.0	▼ 11.5	24,900	▼ 3.0	▼ 15.1	17,264	▼ 1.6	▼ 18.2

(注) ()内はアルミ線を示し外数。ただし推定欄のアルミ線は電力、輸出部門以外は「その他内需部門」に一括計上。▼はマイナス。
金額は四捨五入の為計が合わない場合がある。

2020年3月分品種別出荷 単位:銅量:トン アルミ量:トン 金額:百万円

品種	数量	対前月比 (%)	対前年 同月比(%)	金額	対前月比 (%)	対前年 同月比
裸線	3,440	▼ 4.8	▼ 11.5	2,765	▼ 7.6	▼ 24.5
巻線	11,219	4.5	1.7	12,127	6.1	2.7
機器用电線	3,343	6.6	▼ 2.5	10,026	8.0	2.1
通信用電線・ケーブル	1,186	▼ 4.7	▼ 11.2	2,720	▼ 2.0	▼ 13.5
電力用电線・ケーブル	23,639	10.9	6.9	25,806	14.8	2.5
被覆線	9,986	8.2	▼ 6.7	13,922	7.2	▼ 8.0
輸送用电線	5,982	4.1	▼ 5.5	39,889	4.3	▼ 1.9
銅電線計	58,795	6.9	▼ 0.1	107,254	7.0	▼ 2.0
EM電線・ ケーブル	70	▼ 9.1	▼ 7.9	252	▼ 1.6	▼ 0.8
	2,578	▼ 16.5	▼ 12.1	2,928	▼ 15.7	▼ 15.5
	2,652	▼ 16.3	▼ 12.0	3,207	▼ 14.4	▼ 14.5
アルミ電線計	5,222	173.5	30.6	3,917	98.9	5.7
光製品	3,898,810	21.6	▼ 10.7	36,150	59.3	8.6
うち、光ファイバケーブルコード	-	-	-	6,159	16.0	11.3

(注) 1. EM電線・ケーブルはJCS規格17品種が対象であり、機器用、消防用等のノンハロタイプは含まれない

(注) 2. 四捨五入の為計が合わない場合がある。

(注) 3. 光製品の数量はkmc

(注) 4. ▼はマイナス

◎ アルミニウム関係

- 国際アルミニウム地金相場、第1週、銅・ニッケルを筆頭にメタルは続伸。為替が108円台後半まで大幅な円安に振れているように、米暴動問題及びトランプ大統領の支持率急減とでUS\$が激しく売り込まれて、ドル安がメタル価格を押し上げている。需給面では中国5月新車販売台数が+11.7%と前月を上回った他、18年4月以来の二桁成長となった事が強気モードとなる。第2週、米雇用統計では、市場の800万人の雇用減予想が逆に新規雇用250万人増とプラスに転じ、失業率も14.7%から13.3%に改善され、NYダウ株価も大幅急騰し、リスクオンの流れでメタルも総じて上昇。しかしながら週末NYダウ株が急に1800ドル超も下落し、諸相場は強制的に押し下げられた。動きの激しい1週間となった。第3週、米国新規感染者はフロリダ他一部地域で急増するも、総数としては2万人を割って減少。トランプ大統領が追加で1兆ドルのインフラ投資検討中との報道で値幅800ドルの乱高下となる。しかしながら再び感染者数が2万人を超えて増加。特にオクラホマ州で過去最多を記録したことで、ダウ株の上昇がストップした。ドル安がメタル価格を下支えしている。第4週、メタルによってはまちまちな状況であるが、銅は上昇。米感染者数が38000人を超えたこと、IMFが株価上昇は実体経済と乖離していると警鐘を鳴らしたことから上昇が緩和。中国株は独歩高で中国連動メタルを牽引し続けている。さまざまな要因で乱高下が繰り返される中、当面は\$1,600前後でプラスマイナス50ドルでの推移を予想。

○ 対日オファー及び国内価格

- ・対日オファー（CIF） 2020年 5~6月積 1,641.00~1,633.00ドル/トン
- ・輸入採算価格 2020年 5~6月積 188.00~187.00円/kg
- ・NSP 2020年 4月 207.60円/kg
- ・NSP（メーカー対応価格） 2020年 7月~9月 220.00円/kg

○ IAI統計アルミニウム新地金生産高（単位=千トン）

	'20年4月	'20年5月	'19年5月
月生産	*2,277.0	2,343.0	2,355.0
平均日産	*75.9	75.6	76.0

(*＝訂正有り) 中国は対象外にしております。

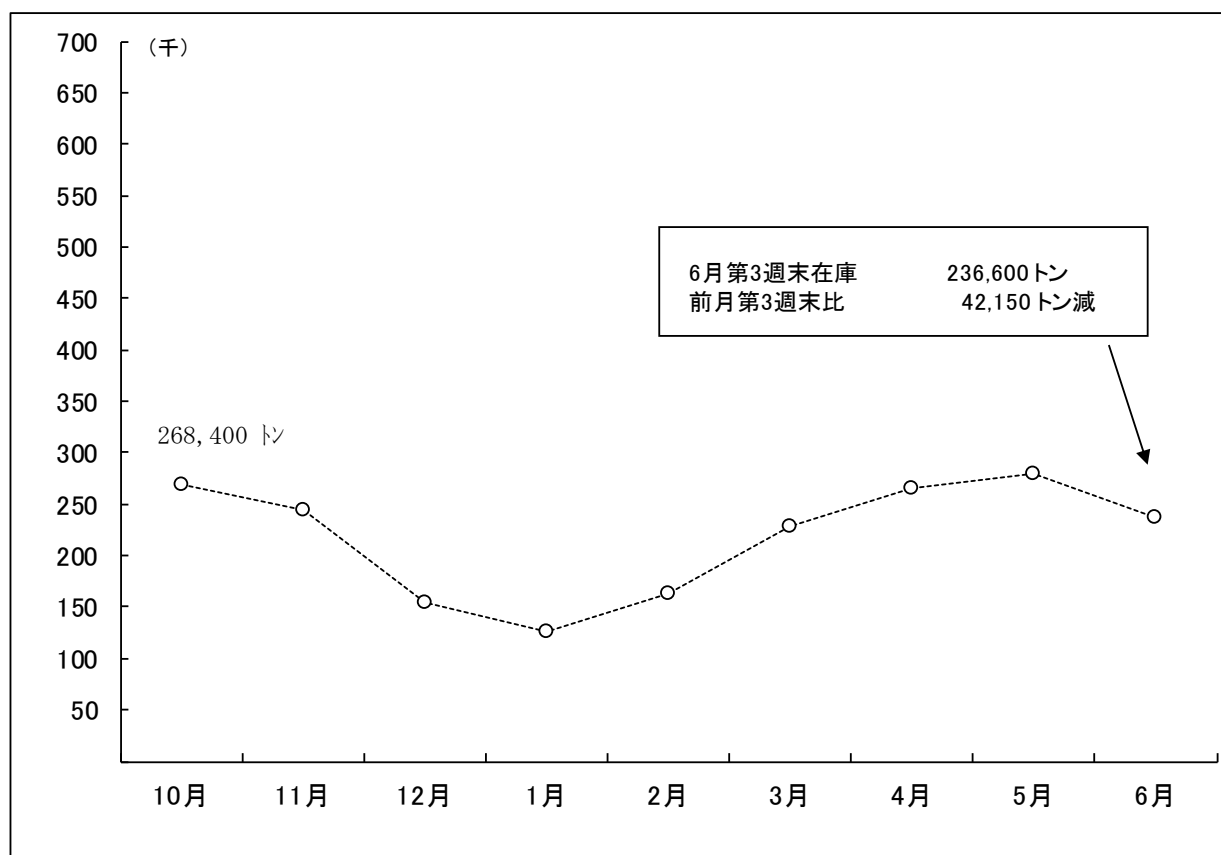
○ アルミインゴット港湾在庫

(単位：トン)

	2019年2月	2020年3月	増減	2019年3月	増減
横浜	157,300	156,500	-800	147,400	+9,100
名古屋	126,600	125,600	-1,000	133,500	-7,900
大阪	14,500	15,000	+500	15,000	±0
合計	298,400	297,100	-1,300	295,900	+1,200

上記アルミインゴット港湾在庫に変更致しました。(2015年1月分からの変更です)

◎ LME銅在庫 (各月第3週末参考)



◎ COMEX在庫 (第3週末)

・20年6月19日現在 75,863 S T 前月比 27,704 S T 増

◎ 国内山元電気銅在庫

・20年3月末 104,933 トン 前月比 4,821 トン減

◎ 伸銅品生産実績

・20年4月確報 59,770 トン
・20年5月速報 48,023 トン 前月比 80.6 %

◎ 電線出荷実績

・20年5月速報 41,600 トン 前月比 80.5 %

◎ 軽圧品生産実績

・20年 5月	板 類	83,894 トン	
	押 出 類	42,409 トン	
		<hr/>	
		126,303 トン	前月比 82.5 %

以上簡単ですが銅概況、他のご報告申し上げます。